

2022年12月1日に防火教室がありました。

### ①避難訓練

「調理室が火事です」の放送直後、子ども達が一齐に避難し始めました。つくし組、どんぐり組では大きな音に驚いたのか泣いている子もいましたが、先生に抱っこされて窓から避難したり、自分の足で歩いたり、先生方の巧みな連携プレーによって、素早く安全に避難できていました。

年少組は、手で口を押えて避難する子、先生と一緒に急いで避難する子、入園して8か月ですが、先生の言葉をよく聞いて慌てることなく落ち着いて避難していて、これまでの訓練が身につけているように感じられました。



### ②防火教室

次にホールに移動し、吹田市西消防署の消防士さんのお話を聞きました。消防士さんから「逃げる時にどうして手で口を塞ぐのかな？」と問われると、大勢の子ども達から「煙を吸わないようにする」と返答が！先生に言われてただ逃げるという受動的な動きではなく、意味を理解して行動に移せている子が多く、年少組の成長を感じられた場面でした。

続いて、火事の怖さを学ぶビデオを鑑賞しました。皆真剣な表情で画面に釘付けになっており、紙飛行機に火をつけようとするシーンでは「だめだよー」という声があちらこちらで聞こえ、無事に火が消えた時にはホッと胸をなでおろすような、緊張が緩んだような表情に戻っていました。ビデオ後半には、テレビで火事のニュースが流れた時に火の怖さについて子どもと話す、短時間でも火をつけたまま放置しない、花火などの後始末をきちんとする等、日頃から家庭でも防火意識を高めることの大切さに触れられていました。



### ③消火訓練

プールにて先生方による初期消火訓練が行われました。本番さながらの訓練に子ども達から「がんばれー、がんばれー」と大きな声援が上がっていました。もしも火事が目の前で起こったら、大声で「火事だー」と周りに知らせること、消火器を使う際は必ず退路を確保してから使うことが大事だそうです。



### ④消防車(千里 ST<sub>2</sub>)の見学

「カッコいい〜」子ども達は消防車を間近で見られて大興奮！あれ何？これ何？と質問が飛び交い、消防士さんの説明に耳を傾けていました。消防士さんから「この電話は消防本部と連絡する時に使うよ」、「このはしごを伸ばすと幼稚園の建物の三階まで届くよ」、「救助の時のサイレンはウー・ウー・ウーで、火事の際はウー・カン・カン・カンと鳴るよ」等いろいろなお話が聞けて子ども達は興味津々の様子でした。消防士さんが背負っているボンベには、酸素ではなく普段私達が吸っている空気が沢山詰まっているそうです。



### 最後に…

子ども達は火の怖さを知るだけでなく、消防士さんからお話を聞いたり本物の消防車を見たり、興味を持って学ぶことができ、心に響く貴重な体験となったことでしょう。このような防火教室や毎月実施されている避難訓練が一つのきっかけとして家庭内で話題に上がることで、子ども達一人ひとりの意識の向上や、自分の命を守る行動につながってほしいと思います。